



蒙を啓く

学校だより 12月号 2024.12.20

福井市啓蒙小学校

福井市開発 1-1008 TEL: 54-2819 FAX: 54-9769 E-mail: keimo-e@fukui-city.ed.jp

学校だよりは、啓蒙小学校ホームページでもご覧いただけます。http://www.fukui-city.ed.jp/keimou-e/

12月も残り10日ほどとなりました。校門には、地域の方が作ってくださった立派な門松が設置され、年が明けるのを待つばかりという雰囲気になっています。今年の冬は、降雪量が多い見込みと報道されており、どれくらいの雪が降るのか心配ですが、早め早めの対応を心がけていきたいと思っています。

今年も保護者の皆様、地域の皆様のご支援とご協力を賜り、ありがとうございました。

○ 「人権」ってなに？

毎年、12月4日～10日までを人権週間と定められています。啓蒙小学校では、今年度は、12月2日(月)～20日(金)を人権週間として、「人権」について考える期間としました。

2日の全校集会 (Zoom) では、全校道徳をしました。お話を聞いた後、「人権」について考えたり、クラスの友達と話し合ったりしました。児童の感想を一部紹介します。

ぼくは、みんながまい日たのしくあたたかいきもちですごせるようにお友だちにいやなことやわる口をいいません。クラスのみんなといっぱいあそんで友だちになりたいです。(1年)

「きみはきみだ」の絵本は、「きみはきみだ」がたくさん出てきました。「きみはきみだ」の絵本がすごいと思いました。(1年)

ぼくは、世界に一人しかいないし、友だちもみんな世界に一人しかいないから、みんなも自分も大切にしようと思いました。だれもだれかのかわりになれないんだから、自分しかできないことがあるのだなと思いました。(3年)

わたしは、人権という言葉をはじめて知りました。人間らしく、自分らしく生きるけんりを考える日と聞きました。世界にたった一人の自分を大切にしないといけないとわかりました。(2年)

わたしは、人権はとても大切で、友だちみんなを大切にしなければいけないということが分かりました。みんなが思いやりがあれば、人権をそんちょうできると思いました。一人一人ちがうということを受け入れようと思いました。(4年)

校長先生のお話を聞いて、「きみしかない」とくべつなそんざい」と聞いて、世界中のみんながくべつなそんざいだということがわかりました。自分のこせいをいかして、自分の得意なことをふやしていきたいなと思いました。(3年)

自分は他の人とちがういいところがあるのだなと思いました。いじめや仲間はずれは、やったことがないけどやってはいけないと改めて思いました。(5年)



自分は自分でいいんだと思いました。自分らしく生きていこうと思いました。(2年)

私は、人権がとても大切なものと改めて思いました。自分には誰もなれないし、誰かに自分もなれない。これからも自分自身を大切にしながら、楽しく過ごしていきたいと思いました。(6年)

○心あたたかあいさつ運動

啓蒙小学校の人権週間の取り組みとして、「心あたたかあいさつ運動」を展開しました。1日に1学級ずつ担当し、校門や玄関であいさつ運動に取り組むものです。まずは6年生がお手本を・・・ということで、トップバッターは6年1組。さわやかな笑顔と元気なあいさつ運動を行ってくれました。他のクラスも、仲間と協力し合い、アイデア満載のあいさつ運動を行ってくれました。元気にあいさつする子どもたちの力で、地域の方の心も温まってくれるとうれしく思います。



○水墨画に挑戦！（6年生）

11月22日(金)、啓蒙地区にお住まいの墨絵の先生を講師にお招きし、水墨画を体験しました。墨をちょうどよい濃さにすることが難しいようでしたが、素敵な作品ができあがりました。



11月21日(木)、松平家から図書の寄贈がありました。贈っていただいた絵本を使って、4年生が1年生に読み聞かせしている様子を松平宗紀様に参観していただきました。



↑ 啓蒙
小学校
ブログ

12月13日(金)、地域の方が啓蒙小学校校門に門松を設置してくださいました。その後、6年生が温かいお茶を振る舞いました。「門松の竹の切り口は、笑顔になるんだよ。」などの話をしていただき、子どもたちから感嘆の声が上がっていました。寒い中作業してくださった皆様、ありがとうございました。

